教育事務所だより 南北300kmの教育

鹿児島教育事務所

第3号

令和元年12月16日発行

地区研究協力校(国語科)公開 ~いちき串木野市立旭小学校~

10月25日(金), いちき串木野市立旭小学校において, 地区 「国語科」研究指定校としての研究公開が行われました。

旭小学校では、平成30~令和元年度の2年にわたり、「自 ら学び、考えを伝え合い、学びを深めていくことができる子ど もの育成~国語科『話すこと・聞くこと』の指導を中心に」とい うテーマのもと研究を推進してくださいました。具体的には、 児童の「話す力・聞く力」を系統的に育てるために到達度規準 表を作成したり、コミュニケーション検定や話す力・聞くカテス トを実施したりするなど、研究を積み上げてこられました。

当日は、2年生と 3・4年生の授業が 公開されましたが. 両学級とも生き生き と対話活動に取り組成 み、学びを深めるな ど研究の成果が現

れていました。



地区研究協力校(指導方法改善)公開 ~日置市立伊作小学校~

10月29日(火), 日置市立伊作小学校において, 地区「指導 方法改善」研究指定校としての研究公開が行われました。

伊作小学校では、平成30~令和元年度の2年にわたり「自 分の考えを持ち、伝え合い高め合う子供の育成~言語活動 の充実を通して~」というテーマのもと研究を推進してください ました。具体的には、授業における児童の言語活動を充実さ せるために接続語の意識や辞書の活用、また、児童の学力を 向上させるために校時表の工夫や個別指導の充実などの研 究を積み上げてこられました。

当日は,6年生算 数科の授業が公開 されましたが、児童 -人一人が自分の 考えをもち、対話に よって考えを深めて いく様子が見られま した。



新学習指導要領で外国語教育が変わる!

今回の学習指導要領改訂では英語教育が大きな注目を集めてきました。グローバル社 会の進展により、本人の居場所や志向を問わず、「英語を使う力」の必要性が高まってきて いることから行われたものです。この目的を達成するための鍵となるのが「聞く」、「読む」、 「書く」、「話す」の英語4技能の強化です。従来、小学校高学年を対象に行われていた「外 国語活動」の授業は、小学校中学年で実施されます。外国語活動の授業の目的は「英語 に親しむ」ことで、「聞く」、「話す(やり取り、発表)」の2技能3領域におけるコミュニケーション が中心です。一方、小学校高学年には教科としての英語の授業が始まります。教科化に 伴い、目的は「英語によるコミュニケーションスキルの基礎を養う」にレベルアップします。授 業内容も「読む」、「書く」が加わり、4技能5領域化され、中学校以降に学習する英語と連続 性をもったものになります。600~700語程度の語彙習得を目指し、疑問詞、代名詞、動名 詞,助動詞,動詞の過去形などを使った基本的な表現を学びます。中学校の完全実施は, 令和3年度からですが、小学校の改革を踏まえ、習得語彙数は現行の1200語から1600~ 1800語に増加します。さらに従来は高等学校で学習していた仮定法や原形不定詞が加わ ります。児童生徒が生きるであろう社会を見据え、英語の力を積み上げていきましょう。



オープンサポート教科フォーラム(伊集院中)



英語教員スキルアッププロジェクト

問題行動・不登校等調査結果(H30)

平成30年度の調査結果が公表されました。 いじめの認知件数については、本県では41.4%増加 しており、認知した学校数は131校増加しています。 初期段階のものも含めて積極的に認知し、解消に向け て早期対応に取り組んでいると、 肯定的に受け止めて いるところです。一方で、いじめを認知していない学 校にあっては、いじめの認知件数が零であったことを、 児童生徒や保護者向けに公表し、検証を仰ぐことで、 認知漏れがないかを確認できます。

不登校数は、本県では小学校で133人、中学校で127 人それぞれ増加しています。新たな不登校児童生徒を 生まない取組が重要です。全ての児童生徒が、学校生 活に満足感・成就感をもつことができるように、「居 場所づくり」「絆づくり」に取り組んでいきましょう。

「チャレンジかごしま」ランキング

県ランキングベスト10に、本地区から小学校は25学 級、中学校は6学級が入賞しました。「チャレンジ かごしま」は、運動習慣の育成や体力向上を図るた めに、仲間と楽しく集団で協力し合って運動に取り組 むことがねらいです。後期も様々な機会を捉えて継 続した取組をお願いします。なお、地区ランキング (前期分) も本教育事務所HPに掲載中です。 小学校・中学校ともに、後期の報告期限は令和2 年1月24日(金)です。

日置·鹿児島郡地区教育論文·実践記録

日々の計画的・継続的な研究・実践の成果をまと めることで、自分の教育実践を振り返り、更なる指 導方法の改善・充実に努めていきましょう。今年度 も教育論文・実践記録集「波動」を発行予定です。 【形式】A4判6枚以上10枚以内

日置・鹿児島郡地区栄養教諭研修会

本地区では、栄養教諭の資質向上を図り、食に関する 指導を充実させるために、研究授業を通した研修会を行っ ています。

今年度は、日置市立吹上中学校において、2年生の学 級活動の授業に栄養教諭がTTで加わり、「健康に生きる ための食生活」という題材で研究授業を行いました。生徒 たちは、「お弁当の日」に向けて、栄養満点の弁当作りの ポイントを基に、お互いにアドバイスし合いながら、計画を 立てていきました。

授業研究及び研究協議では、担任や教科担任との打合 せの在り方や生徒の意見の生かし方、振り返りのさせ方

などについて活発な 意見交換が行われ ました。

食に関する指導は. 全職員の共通理解の もと. 推進体制を確立 し. 学校の教育活動 全体を通じて行うこと が重要です。



研究協議の様子

鹿児島地区子ども会大会 指導者・育成者研修会

12月7日(土), いちき串木野市市民文化センターで、 約640人の各子ども会員や指導者の方々等の参加の 中、大会を開催しました。オープニングを大里虫追踊保 存会が飾り、松尾地区子連会長といちき串木野市の有 村教育長のあいさつの後、地区子連表彰や県表彰の 伝達がありました。 大会では、各市子連の研修事業や 単位子ども会の活動発表がありました。創作活動では、 子どもたちは5会場に分かれ、日置市の「チェスト」とい ちき串木野市の「チェリーブロッサム」の2つのジュニア ・リーダークラブの指導を受け、フォトフレームづくりに取 り組みました。また、指導者・育成者研修会では、防衛 医科大学校の高橋聡美教授が「親

子で育む自尊感情」と題して、子ど もとの関わり方等について、自分の 家庭の話も交えながら、わかりやす く講演をされました。子どもも大人

も充実した大会となりました。



県PTA活動研究委嘱公開

11月30日(土), いちき串木野市市民文化センターで 約600人の地区内PTA会員や学校関係者の方々等の 参加の中、大会を開催しました。大会は、荒川小の子 どもたちによる荒川太鼓の演奏、旭小の子どもたちに よるゲタタップ、串木野西中PTAのダンスで幕を開けま した。開会行事でのいちき串木野市P連の冨永会長等 のあいさつ後、「心豊かで健全な子どもを育てるPTA 活動はどうあればよいか~親子で取り組む生活習慣 づくり~」のテーマに沿って、旭小、荒川小、串木野西 中の研究発表がありました。質疑や指導助言の後、増 田クリニックの増田彰則院長が、「睡眠不足とメディア から子どもの脳を守る」を演題に講演されました。参加 されたPTA会員の方々は、うなずきながら真剣に聞い ていました。 大会を通して、 生活習慣の確立の重要性を

改めて確認し、各家庭・PTA で取り組むためのよい機会と 🎏 なりました。「オープニングの様子



服務規律の厳正確保について

《12月は「不祥事防止強化月間」です》

一人一人が教育に携わる者として自らを厳しく律し, 服 務規律の厳正確保、法令遵守に努めましょう。

1 飲酒運転の防止

まなガ預と卒

年末年始を控え飲酒の機会も増えることから、飲酒運 転や二日酔いでの運転は絶対に行わないようにしましょ う。

2 交通法令の遵守及び交通事故等の防止

年末を控えて気がはやる, 旅行等で慣れない道を運 転する、観光による土地勘のない県外ナンバー車が増え るなどの状況が考えられることから、時間や心に余裕を 持った慎重な運転を心がけ、速度超過などの交通違反 や交通事故を起こさないようにしましょう。

地区子ども会育成連絡協議会個人・団体表彰

(敬称は省略)

ば

あ

凉

風

《個 人》秋山 俊一(いちき串木野市)

よド不たを

《団 体》下神殿子ども会(日置市伊集院地域) 南湯之元子ども会(日置市吹上地域) 宝島子ども会(十島村) 上名地区子ども会 (いちき串木野市)

駅前子ども会(いちき串木野市)

てれる でに感たはので様奮見勤 せがンか報業そうの自 なさあとじ「言人す々闘え務今いの つつる人う間がなさると年 っ勤やすあ百るののんらバる告時んな上由晩手だた歳く年 て謙様ま的 教れ学な度た務 り機 り点 でなそ育 て校り四よ校が微 ま月うは さそど も関 の改い しかに 様 子たら 子にが、鹿ってませ まが 矢が せ変に継透 しかんわ教 事児す思 ら師早て 先務島 いらつ大祖ずとの見生所教 まれ 変母あ子学え方か育 変そか人とき われらがはま人っ 校方をっとと場 っぞこ織一しをて おか

りのしにな凛 でに年で 鹿祖と新 なは退 り政そ **ボカ(すののり以て** がラ大ど教中ま治れ 快母でち年に をでだなは一ゃ生住部 じべだでムシっれ祖剛 るッんしショ子で母 。をる学